

今城塚古墳クイズラリー 「はにわたんけんたい」の開催



#地域観光振興 #クイズイベント #歴史教育

目的

観光地として魅力的な場所が少ないにもかかわらず、その知名度はあまり高くない子ども世代が地元の歴史に親しむ機会をつくり、地域の魅力の発信につなげる

活動の概要

- 主な連携先
高槻市立今城塚古代歴史館 / 高槻市教育委員会 / 関西大学総合情報学部岡田ゼミ「はにたん」チーム
- 活動地域
大阪府高槻市
- 活動期間
2019年～2020年
- 活動資金
高槻市立今城塚古代歴史館(会場施設の提供) / 関西大学総合情報学部実験実習材料費

連携にいたる経緯

地元小学生を対象として、地域の歴史や魅力に触れ親しむクイズラリーのイベント企画を高槻市の関係部局に持ち込んで相談したところ、今城塚古墳とその関連施設での開催の提案を受け、開催に至った。



活動内容

今城塚古墳公園および隣接する高槻市立今城塚古代歴史館を会場としたクイズラリーイベントを2020年9月19～22日の4日間にわたって開催した。市内在住の小学生を対象に、クイズを通して地元の歴史や魅力に触れてもらうことで、将来的な情報発信につながることをめざした。告知活動としては、教育委員会の協力を得て会場周辺の小学校4校に事前にチラシを配布した。実施に当たって、高学年と低学年でクイズの用紙や内容を別にして参加しやすい形式とし、イベントの参加賞として、はにわや勾玉づくりの体験コーナーを設置を予定していた。しかしながら2020年から始まったコロナ禍により、当初予定した3月の開催が9月に延期され、古代史関連グッズの製作体験コーナーも、クイズラリー完答者にマニュアルを同梱してキットを持ち帰ってもらう形に変更せざるを得なかった。

活動の成果

- ▶ 当初見込んでいた来場者数合計80名程度を大きく上回る200名近い小学生の参加をみた。
- ▶ 各日とも開館前の段階で事前に用意していた記念品の数を上回る入場待ち列ができるほどであった。

今後の課題・目標・展開の可能性

- ▶ 参加賞の記念品の用意した数を上回る参加者があり、十分な対応ができなかった。
- ▶ 事前のリサーチ不足のため、イベントの開催場所や実施内容について連携先との調整に手間取ってしまった。

総合情報学部 教授 岡田 朋之 Okada Tomoyuki



専門はメディア論、文化社会学。ゼミでは「メディアで社会を動かす」をテーマに据え、メディアの制作実践を通して社会を問い直すことを課題としている。

